



～産まれてきてくれてありがとう～

私たちは不妊治療の中で命の尊さを感じ、この世に生を受けた子どもはどの子にも幸せになってほしいと思い、里親になりました。

子どもとは2歳で出会い、現在は3歳。初めて対面した時「なんて主人に似ているのだろう」と不思議な縁を感じました。初めての外出はこわばった表情で、私たちの車に乗るのも怖がりでした。何回も面会を重ねていくうちに、いつもあっさり職員の前に戻っていく子どもが、「バイバイ、またね。」と言うと急に泣き出し、後追いをした時には、親になる喜びを感じ涙しました。

子どもの成長はめざましくて、オムツをしていたのに今はトイレも一人で行き、お父さんを真似て立ったままおしっこをする練習をしています。「汚れるー。やめてー。」って感じなのですが、日々子どもの成長を目にすることは、なんと幸せで、心とむことでしょうか。里親にならなければ味わうことができなかった思いです。

子どもが我が家に来てからは、両親や周りの方々との絆も深まり、毎日たくさんの幸せをもらっています。「産まれてきてくれてありがとう。」と毎日ギュッとしています。この言葉を使うと、前はただ嬉しそうな顔をして私に抱きついてきていたのですが、最近は「お母さんも産まれてきてくれてありがとうね」と、はにかみながら目を見て言葉をかけてくれます。